

総務文教常任委員会

ふるさと納税寄付額が大幅増加

12月定例会の総務文教常任委員会では、平成30年度一般会計補正予算などが審査されました。仙北市に対するふるさと納税が大きく増加したことなどが議論されています。

主な内容

本庁舎維持管理費

52万円

庁舎で使用する燃料の高騰による補正予算。

ふるさと納税ふるさと便事業費

4,845万円

ふるさと納税の返礼品に係る費用。ふるさと納税寄付額が増加したことに伴う増額補正。

ふるさと仙北応援基金積立金

1億407万円

ふるさと納税寄付金の基金への積立。寄付金増加による。

ここが知りたい 議論のポイント

補正予算の主な質疑

本庁舎維持管理費 燃料費高騰の内訳は？

質問 燃料費高騰による補正予算だが具体的にどの程度上がっているのか。

答弁 当初予算作成時には、大口A重油は1ℓあたり65.88円で想定していたが、その後93.96円となった。また、中口A重油は68.04円が98.28円に、灯油については83.16円が102.06円となった。単価契約は市場価格に基づき、秋田県石油商業協同組合と一括して契約し、地元業者が納入している。今年度は10回程度契約の見直しを行っている。

ふるさと納税寄付額が増加しているがその要因は？

質問 ふるさと納税寄付額が大幅に伸びているようだが、その要因は何か？

答弁 これまでも、ふるさと納税を扱うサイトに複数登録していたが、5月から楽天が運営するサイ

トにも登録したところ、そちらからの寄付申込が非常に多く結果として大幅に増加した。12月現在では10のサイトから寄付申込が可能となっており、ふるさと納税希望者の目に触れる回数が以前より増えた。返礼品については、米が一番多く出ており、次いで、虹の豚、比内地鶏ラーメン、きりたんぼセットなども多い。

質問 寄付者は寄付金の使い道を選べるが、内訳はどのようなものか。

答弁 これまでの寄付総額は3億2,100万円だが、「自治体におまかせ」という項目が一番多く約9,875万円、次に「未来を担う子供達」に対するものが7,954万円、「ふるさととの自然文化を守る」ことに対するものが4,078万円などとなっている。

質問 仙北市のふるさと納税をうたった偽サイトが発見されたようだが対策は。

答弁 12月10日に仙北市のふるさと納税サイトを模倣した偽サイトが発見された。「生活用品専門店」という名前のもので、明らかに市のものとは違う。市のホームページで注意喚起した他、県を通じ警察にも連絡している。

特別会計補正予算案などを可決

- ◇平成30年度集中管理特別会計補正予算 4,491万円
- ◇平成30年度生保内財産区特別会計補正予算 1,710万円
- ◇平成30年度田沢財産区特別会計補正予算 887万円
- ◇秋田県市町村総合事務組合同規約の一部変更について



■寄付額が増加している「ふるさと納税」

市民福祉常任委員会

「にしき園」の運営は当面の間、市直営で行うことに

12月定例会の市民福祉常任委員会では、条例の一部改正案や一般会計補正予算などが審査されました。また、特別会計の補正予算審査では、老人保健施設「にしき園」の運営について、法人化の検討をしたが受け手もなく、当面の間、市直営で行う方針が示されています。

主な内容

仙北市手数料条例の一部を改正する条例制定

コンビニ交付サービス事業における帳票手数料の一部改正

ひとり親家庭福祉事業費

91万6千円

平成29年度母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金交付額確定による返還金。

母子生活支援施設等入所措置費負担金

357万7千円

児童福祉法に基づく母子生活支援施設入所に係る措置費負担金等の追加。

認可保育園等職員給与費

△1,087万円

認可保育園等の職員給与費の確定に伴う減額予算

予防事業費

173万6千円

中学生・高校生・妊婦へのインフルエンザ予防接種費用助成金の追加。

ここが知りたい 議論のポイント

補正予算の主な質疑

ひとり親家庭福祉事業費について

質問 ひとり親の規定は、例えば結婚せずに子供がいる方もいるが、どういう方が対象になるのか。

答弁 結婚された方でも、されていない方でも母子家庭、父子家庭の対象となる。

母子生活支援施設等入所費負担金について

質問 母子生活支援施設入所措置で本人からの相談、発見された場合の対応はどうしているか。

答弁 職員と相談員で話し合いながら緊急の場合も含めて対応している。入所者は施設から仕事に行くことも可能で収入を得ることも可能だが食費は自己負担である。入所後は1、2年をかけて心理ケア指導による自立支援が行われるが、難しい方に

ついでには期間延長もある。連れていくことのできる子供は18歳以内で、この施設は中央地区3カ所、県南地区1カ所、県北地区3カ所に設置されているが、県南地区は横手市にある。

認可保育園等の職員給与などの改善

質問 過去には保育士の産休代替があったが、そうした職員確保の対策はないか。

答弁 過去には産休代替として県から派遣されたが今はない。臨時の申し込みもなく施設内の職員でやり繰

りしている現状である。
質問 保育士の賃金が上がったとのことだが、最低賃金の変更によるものか。
答弁 制度が変わって賃金加算が可能となり昨年度から段階をつけて改善している。

予防接種事業の内訳は？

質問 予防接種の接種予測人数はどのようになっているのか。
答弁 単価1,500円で中学生・高校生が1,230人の9割、妊婦の方で50人が接種するものとして予算計上している。

国民健康保険特別会計・介護保険特別会計補正予算を可決

質問 にしき園の運営は、当面は引き続き市直営とし、将来的には介護老人保健施設から特別養護老人ホームへの移行も検討しているが施設の違いは何か。

答弁 老健は、医師の常勤・看護師の基準もあり、病院を退院された方がリハビリ等を受け、在宅復帰を目的にしている。特養は本人希望で「にしき園」より退所できるが、基本的には入所者の生活の場となる施設である。



■当面は直営で運営されることになった「にしき園」

産業建設常任委員会

女川町・富士河口湖町との子ども交流事業が打ち切りへ

12月定例会の産業建設常任委員会では、主に秋田県人事委員会勧告による職員の給与、期末・勤勉手当の引き上げに伴う一般会計補正予算、特別会計補正予算、水道事業会計補正予算が審査されました。また、仙北市活性化施設（かたくり館）の指定管理者の指定についても審査されています。

主な内容	秋田発・子どもふるさと交流推進事業費補助金	△70万円
	女川町と富士河口湖町の子どもたちとの交流事業の打ち切り	
	花葉館施設整備事業費	131万円
	消防署の改善指導による非常放送設備の交換工事	
	観光費	85万円
	上桧木内の紙風船上げ駐車場増設、青少年国際交流事業、国際交流協会補助金	
	冬期交通対策費	1,000万円
	除雪車リース料	

**ここが知りたい
議論のポイント**
補正予算の主な質疑

秋田発・子どもふるさと交流推進事業の打ち切りについて

質問 これまで10年間の事業は非常に大きな意義があったと思うが、来年度以降も何らかの交流を検討できないか。

答弁 県の補助金が10年を区切りとして打ち切られることとなった。来年度中に再度交流継続について検討したい。

花葉館の施設整備について

質問 花葉館の整備事業費は、当初予算でも既に1千万円超が計上され、また、6月にも温水ポンプ等の故障で約200万円が支出された。今回も非常放送設備に130万円が計上されている。もっと計画的に施設の整備を進めていくことはできないのか。

答弁 花葉館は、施設の規模が大きいため年次で整備事業を計画しているが、経年劣化が計画以上に進んでおり、今回は、消防署から改善を強く求められたため、早急に対処するものである。

質問 第3セクターの施設修繕が多いが、施工に問題があるの

特別会計補正予算・指定管理者の指定などを可決

◇下水道事業・集落排水事業・浄化槽事業の各特別会計

◇公の施設の指定管理者の指定について

仙北市活性化施設 北小山田常会（平成31年4月1日～平成36年3月31日）

～水道事業会計補正予算

水道法の改正による影響はいかに～

質問 水道法が改正され、水道事業に民間企業が参入可能となるが、今後の事業展開について伺う。

答弁 この法改正は、人口減少による料金収入の減少や水道施設の老朽化、人材不足など全国的な課題克服のため、民間の資金や能力を活用する「コンセッション方式」の導入を可能とするものだが、同時に、県を推進役とした広域連携の推進も掲げられている。市としては、政府や県の動きを注視し、近隣市町村とも連携しながら模索していく必要があると考えている。

ではないか。また、公の施設ではあるが営業努力も必要とされる第3セクターの施設整備事業をすべて市でやらなければならぬものなのか。

答弁 施工は問題ないと考えられる。花葉館とハートハーブの設備修繕が多くなっているが、どちらも築20年以上の施設で経年劣化が激しい。契約上、設備修繕は双方で協議する所であり、一部、会社側で負担している場合もある。今後は、市でも高額な負担は厳しくなるため、指定管理期間内に、地域の利用者や会社側と協議したい。



■老朽化による施設整備事業費が膨らむ花葉館